



# 「福澤育林友の会」ニュース

第28号 発行日2015年8月1日

福澤育林友の会  
東京都港区三田2-15-45 慶應義塾 管財部  
TEL:03-5427-1050 FAX:03-5427-1190  
<http://www.f-ikurin.jp>



## 育林と教育

慶應義塾  
管財部長 繁 森 隆

林業は非常に長いスパンの展望を必要とする産業です。今そこにある木を伐って売るだけでは早晚資源は枯渇してしまいます。伐った後にまた次の木を育てそれをまた伐る、このサイクルを続けていくためには百年単位で先を見据えて、計画的に林を育て維持していかなければなりません。また、最近では単に産業としてだけでなく、地球環境、持続可能社会と言った視点で語られることが増えてきました。その意味で、育林の活動は慶應義塾が掲げる



「地球環境の保全と持続可能な循環型社会の発展」の環境理念に沿ったものと言えます。現在、林業三田会をはじめとするみなさまのご協力により、南三陸森林のF S C (Forest Stewardship Council) 森林認証取得の手続きを進めておりますが、このF S Cの原則と基準においても「長期的な維持」の視点が重要な要素となっています。

現代社会では、短期的に可視的な成果が求められる傾向がどんどん強まっています。短期的・可視的成果自体を否定するものではありませんが、社会がその価値観一辺倒になってしまうことは疑問です。長期的に多様な便益を提供するものの価値も、また認められるべきでしょう。このことは慶應義塾の最大の使命である教育にも通ずる話です。教育の目的は、有用な人材を育て社会に供給し貢献することです。その成果は木を育てるように長い年月を経て評価されるものであり、受験や就職などの結果も大事ではありますが、教育が本来目指すべきはそれだけではないはずです。

私が担当している管財業務も、長期的な視点を持って計画的に行っていくことが求められる仕事です。実際には目先のことで判断してしまうことも間々あるのですが、管財業務も林や人を育てるのと同じように、未来を見据える意識を持って取り組んで行きたいと思います。

---

## 福澤育林友の会への入会にあたり

鈴木 喜千也  
(株式会社ベルウッド 代表取締役 85年政治卒)

---

私の会社は IT 関連のマーケティングコンサルティング会社なのですが、分収造林の社有林を所有し造林者契約もしております。もともと祖父が山林管理・取引をするために作った会社の定款を変更したものです。



浜松市個人所有林の夏焼山

祖父も父も大学で林学を学び林業

に関わる仕事をしていましたが、私は幼稚舎から慶應義塾に入り大学は政治学科の卒業です。大学時代 IT に興味を持ち、電気メーカーに勤め携帯電話などの商品企画等に携わってきました。学生時代から山で遊ぶ事はしていましたが、まさか自分が山林を所有するとは考えてもいませんでした。

祖父の山林は父が継ぎ、私が継ぐのはずっと先だから「いずれ父から教われば良い」と思っておりました。しかし、父が早く他界したこともあり 36 歳で祖父から継ぐことになりました。何もわからぬまま、当時の森林開発公団(現 国立研究開発法人 森林総合研究所)の方々や地元林業家の方々と一緒に造林地へ行き、支えられ、間伐・獣害対策・歩道整備などの施行を行い、何とか 18 年が経ちました。この 18 年で杉・檜が太くなりましたが、そんな木々を見ていると「まさに育林だ!」と実感します。



筆者(静岡市社有林の深沢山にて)

これまで山の仕事で、塾員の方々とおつきあいは殆どありませんでした。すでに会員であった加藤純士君から本会の話聞き「塾員と山の話ができる」と思うと嬉しくなり、すぐに入会申請させていただきました。

これから出来る限り多くの集まりに参加させていただき、沢山の方々と「育林」についてお話しさせていただければと思いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

---

## 慶應の森と杉並三田会

大森 久枝  
(杉並三田会)

---

杉並三田会地域貢献グループが主催している「南三陸応援ツアー」も今年で第三回目を迎えた。このツアーは、慶應義塾が開催した南三陸プロジェクトの活動報告及びシンポジウムでの、塾長並びに南三陸森林組合代表理事組合長の佐藤久一郎氏の発言を、当時の地域貢献グループのメンバー達が聴いたことがきっかけで立ち上がった。そして「慶應の森」の存在を皆が知ることになった。



慶應の森

第一回目のこのツアーに参加したとき、「慶應の森」の木で、塾生や、志木高の生徒達が、ボランティアで椅子やテーブルを作り被災地の人達に喜ばれていると聞いたが、実際、復興商店街「さんさん商店街」でペンマークの入った長椅子を見たときは、胸が熱くなった。

毎年夏休みを利用して南三陸プロジェクトの塾生達が森を訪れ、下草を刈ったり、道や階段を作ったりの作業を手弁当でしていると聞いているが、「慶應の森」は、森林組合の方々や、そのような塾生達の献身的な作業により手入れが行き届き、木々は健やかに伸び、本当に美しい。今回のツアーでは、

新しくできた山小屋の裏に、三本の桜の木を植樹させて頂いたが、これらの木が被災地の復興と共に、すくすく育って、いつかは大木になり、枝いっぱい花を咲かせる、そんな日が待ち遠しい。

森の役割は大きい。私達は微力ながらも力を合わせて大切な森を守っていききたい。そして、縁あってできた「慶應の森」と杉並三田会の絆も大切に育てていききたい。



さんさん商店街

---

## 平成 27 年度 「研修旅行」の案内

平成 27 年 9 月 26 日(土) ~ 27(日) [オプショナル 9 月 27 日の 1 泊]

---

今年の研修旅行は、塾員の田島信太郎氏にご協力いただき、平成 27 年 9 月 26 日(土)~27 日(日)で大分を訪ねる旅を企画しました。

1 日目は、木の成長が早い九州の地にある田島氏の山林で、機械を駆使した間伐システム等を見学し、曾祖父の田島儀市氏が経営に参画した鯛生金山が、現在では地底博物館として蘇っており、天然クーラー14度の「東洋のエル・ドラード(黄金郷)」を楽しんでいただきます。





2日目は、福澤先生ゆかりの地である中津へ移動し、福澤諭吉旧居や中津城等を見学します。

今回は移動に少し時間を費やすため、1泊2日の大分では物足りないと思われる方に、「臼杵」や「国東半島」等の観光地を巡ることができるよう、中津に宿泊先を用意しました。こちらも合わせてお申し込み下さい(宿泊先のみ確保しておりますので、その他は全て自由行動・自己負担となります)。

詳細につきましては、既に会員の方々へ案内をお送りしておりますので、そちらをご覧の上、奮ってご参加下さいますようお願い致します。

### 記

日 程：平成 27 年 9 月 26 日(土) ~ 27 日(日) 1 泊 2 日  
[オプション：9 月 27 日の 1 泊]

締 切：平成 27 年 8 月 21 日(金)

\* 募集人数 40 名に達し次第、締切日前でも募集終了となります。

費 用： 会 員                   ： 26,000 円 (1 人部屋利用の場合は 5,000 円加算)

非会員(一般)               ： 28,000 円 (1 人部屋利用の場合は 5,000 円加算)

学 生                         ： 10,000 円 (1 人部屋利用の場合は 5,000 円加算)

\* オプション(一律料金)   ： 8,800 円 (上記費用に加算)



<注意> 8 月 8 日(土)~8 月 16 日(日) は慶應義塾三田キャンパス夏季一斉休暇のため、この間のお問合せ等の対応はできません。

以上

## 平成 26 年度 福澤育林友の会 会計報告

会員：166 名 (平成 27 年 7 月 1 日現在)

平成 26 年度	収 入	支 出	摘 要	
前年度繰越金	3,516,527			会費の口座 振替について  平成 27 年度会費の口座振替予定日は平成 27 年 9 月 24 日(木)を予定しています。
会費	1,430,000		H26 年度会費 (159 名分)	
事業参加費	1,168,000		シンポジウム・研修旅行	
利息	616		普通預金利息	
通信費		59,998	ニュース・案内等発送通信費	
事業経費		1,627,834	シンポジウム・研修旅行	
手数料		19,062	会費引落サービス手数料	
当年度収支	2,598,616	1,706,894		
次年度繰越金	4,408,249			